

久米島町ってどんなところ？

沖縄県久米島町は、沖縄本島の西方約100kmに位置する離島です。

県内では5番目に大きい島で行政区面積は63.65km²、島の一周道路は約23kmです。平成14年（2002年）に具志川村（ぐしかわそん）と仲里村（なかざとそん）が合併し久米島町が誕生しました。島の随所に優れた景勝地を擁するとともに、歴史的、文化的遺産や風土的景観にも恵まれ、島全体が県立自然公園に指定されています。

また、近年では、海洋深層水を複合的に利用した産業創出と発電実証実験など革新的な取り組みも進められています。

年間平均気温
23.2℃

人口 7149人
世帯数 3940世帯
(2025年1月末現在)



海洋深層水
取水量国内最大

飛行機（約30分）
那覇－久米島便
約5便就航



フェリー（約3時間～3時間半）
那覇泊港－久米島兼城港
1～2便就航



生産量全国1位
車えび・海ぶどう



久米島紬の地
国指定重要無形文化財指定



久米島町のここがすごい！

歴史・伝統 がすごい！

琉球王国と明・清を結ぶ航路の要衝であった久米島には、多くの文物がもたらされました。島内には旧石器時代から近代までの遺跡が点在しています。伝統芸能や祭祀もよく残されています。

産業 がすごい！

戦後しばらくまで稲作が盛んで、海岸近くまで水田が広がっていました。その後は、稲作からサトウキビに転換しました。サトウキビ生産を主とした農業が主要産業です。また、漁場の中に島があると言われるほど、魚も豊富です。その他、久米島紬や泡盛、海洋深層水関連の産業も盛んです。

自然 がすごい！

島の中央には、ラムサール条約に登録された溪流・湿地がある。クメジマボタルやキクザトサワヘビなどの固有種が生息する、かけがえのない自然が残されています。